

ISDN回線「INS ネット」サービス終了および 固定電話のIP網移行に関する 代替サービスのご案内

■ ホストコンピュータサービス(一括伝送)

2021年1月
株式会社みずほ銀行

目次

1 INSネットサービス終了の概要	1
2 代替サービスの概要・ご利用料金	2
3 お客さまに実施いただきたい事項	3
(1) AnserDATAPORTへの切替	4
(2) 国内Host to Hostサービスへの切替	5
(3) みずほビジネスWEB API連携サービスへの切替	6

お問合せ先

「EBサービス接続方法変更お問合せ窓口」

電話番号：**0120-957-841**

受付時間：月曜日～金曜日 9:00～17:00 (12月31日～1月3日、祝日、振替休日を除く)

現在ご利用いただいている、みずほ銀行の各種EBサービスの接続回線である、NTT東日本・西日本が提供しているISDN回線「INSネット」の「デジタル通信モード」については、2024年1月にサービス終了が予定されております。また、固定電話がIP網に移行されることにより、公衆回線のサービスレベルが大幅に低下し、公衆回線によるEBサービスはご利用いただけなくなります。

本サービス終了により、現在、INSネットや公衆回線でご利用いただいているみずほ銀行のサービスを引き続きご利用いただくためには、「接続方法の切替」または「代替サービスへの切替」を実施いただく必要があります。

INSネット終了後にご利用いただけるサービス、代替の接続方法についてご案内しますので、本冊子をご参照のうえ、前倒しでの切替にご協力いただきますようお願い申し上げます。

サービス終了の影響を受けるみずほ銀行のサービス

「INSネット（デジタル通信モード）」のサービス終了および「固定電話のIP網移行」により、影響を受けるサービスは以下の通りです。

- ホストコンピュータサービス（一括伝送）
- パソコンサービス（一括伝送）※
- パソコンサービス（ANSER-SPC）※

※パソコンサービス（一括伝送）・パソコンサービス（ANSER-SPC）をご契約のお客さまには、別冊のご案内資料を同梱しておりますので、併せてご参照ください。

「INSネット」の「デジタル通信モード」廃止に関するお問い合わせや、現在の回線のご利用状況につきましては、NTT東日本、NTT西日本の問い合わせセンタまでお問い合わせください。

2

代替サービスの概要・ご利用料金

みずほ銀行では、ホストコンピュータサービス（一括伝送）を「INSネット（デジタル通信モード）」終了後にご利用いただくため以下の通りのサービスをご提供いたします。

サービスの特徴につきましては、4ページ以降をご参照ください。

サービス名	サービスメニュー	通信回線	通信手順	ご利用ソフト
ホストコンピュータサービス（一括伝送） + AnserDATAPORT ※1、2	・総合振込 ・給与振込 ・口座振替 ・残高照会 ・取引明細照会 ・住民税納付 ・仕向送金 ・外為照会（会計性/非会計性）等	専用閉域回線 (Connecure) ※1	全銀TCP/IP 手順 (広域IP網)	全銀TCP/IP 手順に対応した 市販ソフト等
国内 Host to Host サービス	・総合振込 ・給与振込 ・入出金明細照会 ・住民税納付 ・仕向送金 ※3	インターネット	SFTPなど	利用手順に 対応した 市販ソフト等
みずほビジネスWEB API 連携サービス	・振込・振替 ・総合振込（依頼/承認） ・残高照会 ・入出金明細照会	インターネット	REST-API による接続 ※4	REST-APIに よるJSON 電文授受が 可能なソフト ウェア等

※1 AnserDATAPORTをご利用いただくためには、別途株式会社NTTデータとの専用線契約（Connecure契約）が必要です。Connecure契約は株式会社NTTデータとの間で実施いただきますが、複数の金融機関とAnserDATAPORTによるデータ伝送を実施する場合でもひとつのConnecure契約でご利用いただくことができます。

※2 AnserDATAPORTは2021年4月頃からのご提供開始を予定しております。

※3 国内Host to Hostサービスのデータフォーマットは、全銀フォーマットのほか、SWIFT準拠および、ISO20022準拠のデータフォーマットもお取り扱いできます。

※4 みずほ銀行のシステムと貴社システムをAPIにより直接接続することで、リアルタイム取引を行うことができます。

3

お客さまに実施いただきたい事項

INSネットサービス終了に向け、代替の接続方法のご検討、システムのご用意をお願いいたします。

代替接続方法のご検討

本ご案内資料をご確認のうえ、貴社の業務運用方法、システム利用方法等に応じた代替の接続手段をご検討ください。



特徴・対象のお客さま

AnserDATAPORT への接続お切替え

データフォーマット、
通信プロトコルを変更
せずに接続回線のための
切替を行うお客さま

国内Host to Host サービスへの サービスお切替え

インターネットでの接続
をご希望のお客さま

API連携サービスへの サービスお切替え

WEBシステムとのリアル
タイム連携をご希望の
お客さま

利用開始までの実施事項

- 専用線に関する
(株)NTTデータへの
申込・回線工事
- みずほ銀行とのサービス
利用契約
- 接続テスト(任意)

- 変更点およびサービス
ご利用条件の確認
- みずほ銀行へのサービス
申込
- 通信環境の準備
- 接続テスト

- 変更点およびサービス
ご利用条件の確認
- みずほ銀行へのサービス
申込
- 貴社WEBシステムの
システム開発
- 通信環境の準備
- 接続テスト



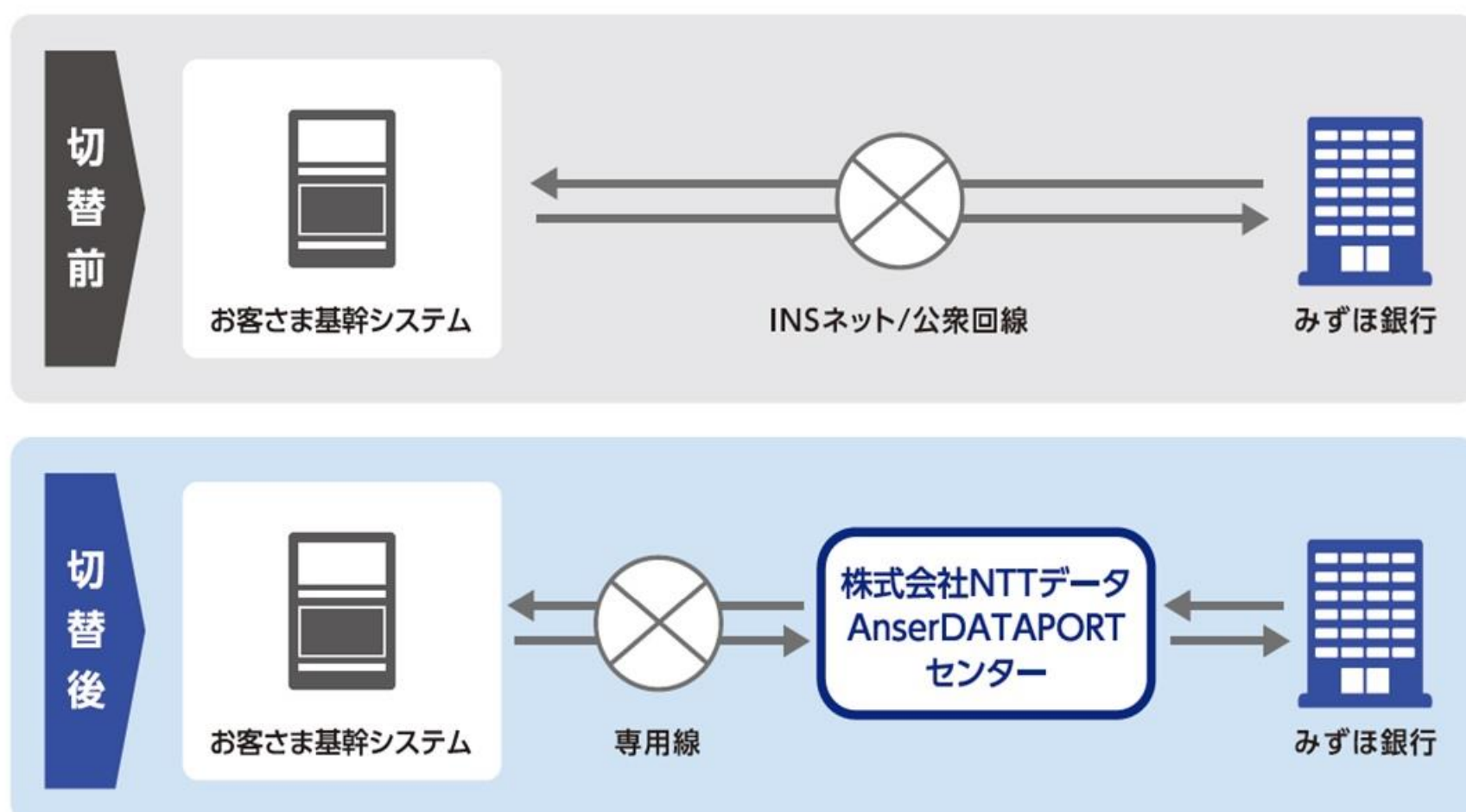
2024年1月 INS ネットサービス終了

INSネットによる接続および公衆回線による接続がご利用いただけなくなります。

(1) AnserDATAPORT への切替

AnserDATAPORTをご利用いただくことで、みずほ銀行やAnserDATAPORT対応済の金融機関との間で、専用線によるマルチバンクでのデータ伝送取引を行えます。

- AnserDATAPORTをご利用いただくことにより、現在ご利用のホストコンピュータサービス（一括伝送）のサービスメニューすべてを継続してご利用いただけます。
- 専用線での接続となるため、より高いセキュリティを確保できます。



AnserDATAPORTをご利用いただくには、みずほ銀行とのサービス利用契約のほか、株式会社NTTデータとの間での専用線 (Connecure) のご契約が必要となります。

専用線 (Connecure) のご利用につきましては、株式会社NTTデータにお問い合わせください。
お問い合わせおよびお申込書のダウンロードは、株式会社NTTデータのホームページよりご確認ください。

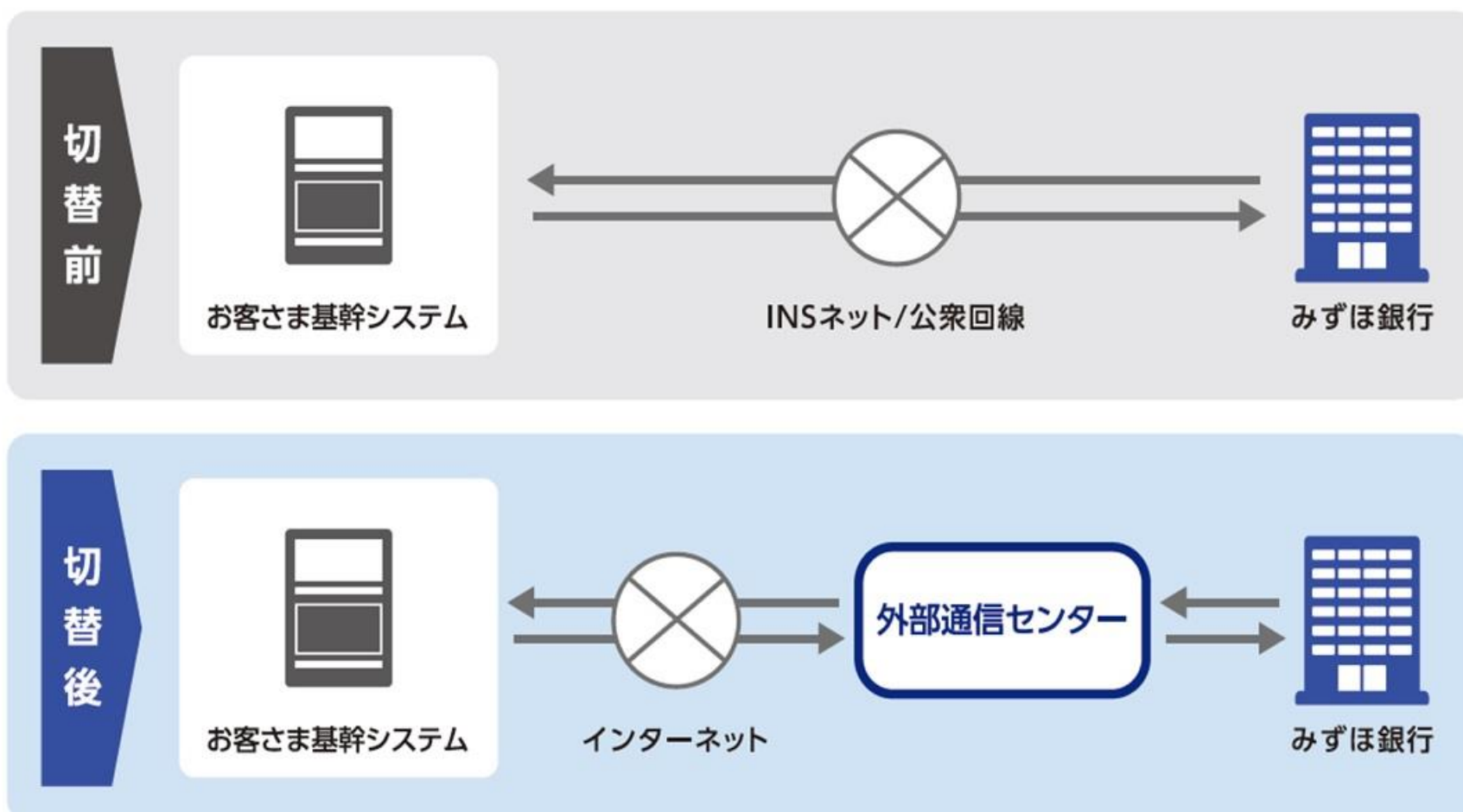
〈Connecure 専用ホームページ (みずほ銀行のお客さま専用)〉

<http://nws.jp.nttdata.com/connecure/mizuho.html>

(2) 国内 Host to Host サービスへの切替

- 国内 Host to Host サービスは、お客さまのホストコンピュータとみずほ銀行との間で、インターネットを介してデータ伝送を行うサービスです。
- 接続の方法は、SFTPによる方法等、インターネットを利用した接続に対応しています。
- 暗号化データでの通信が可能のため、送金指示の不正改ざん防止やセキュリティの強化も図れます。
- 電文フォーマットは現在ご利用の全銀協規定フォーマットのほか、SWIFTのMTフォーマットも取扱可能です。

現在のホストコンピュータサービス（一括伝送）から切替いただく場合、データ送信時限の前倒し、接続方法の変更やエラー発生時の取扱等における留意点が複数ございます。
詳細は、取引営業部店の担当者までお問い合わせください。



(3) みずほビジネスWEB API 連携サービスへの切替

- API連携サービスは、インターネット回線を利用して、お客さまのWEBシステムとみずほ銀行のシステムをAPIにより連携することで「振込振替」、「総合振込」、「照会メニュー」等をご利用いただけるサービスです。
- 本サービスをご利用いただくことで、振込依頼や各種照会を、貴社のWEBシステムとの間でリアルタイムに連携できます。
- 有料オプションの申込により、振込・振替は一部のメンテナンス時間を除き、祝日を含む24時間365日ご利用いただくことも可能です。
- WEB画面によるログイン認証に加え、接続元IPアドレス帯の特定、アクセストークンによる都度認証を行うため、より高いセキュリティが確保できます。

現在のホストコンピュータサービス（一括伝送）から切替いただく場合、取引データフォーマット、取引データ内容、およびサービス時間などの留意点が複数ございます。
詳細は、取引営業部店の担当者までお問い合わせください。

